

平成26年度 再評価実施後5年経過した事業箇所の再評価項目表

事業主体	新潟県	事業名	社会資本整備総合交付金（道路事業）
事業箇所	村上市芦谷～村上市鶴泊地内	路線名	一般国道345号 芦谷拡幅

1 事業の概要

<p>① 事業の目的・効果・必要性等</p> <p>一般国道345号は、新潟市を起点とし、山形県飽海郡遊佐町に至る幹線道路である。 しかし、当該事業区間は幅員狭小および線形不良区間が連続しており、大型車の円滑なすれ違いが困難な状況となっている。特に県立公園である「笹川流れ」へ唯一アクセスする路線であり、道路整備による観光振興に期待が寄せられている。また、一般国道7号の代替路線としても重要な役割を担っている。 芦谷拡幅は、幅員狭小および線形不良区間を解消し、安全で円滑な交通の確保を目的とした延長約1.6kmの現道拡幅事業である。</p>																																											
<p>② 事業内容</p> <p>L=1.6km 現道拡幅事業 橋梁1橋 トンネル1箇所</p>	<p>③ 残事業内容</p> <p>L=0.3km 現道拡幅事業 トンネル1箇所</p>																																										
<p>④ 総事業費</p> <p>6,600百万円 [6,600百万円]</p>	<p>⑦ 進捗率（事業費ベース）</p> <p>83.0% (=5,476/6,600)</p>																																										
<p>⑤ 執行済事業費</p> <p>5,476百万円 [5,090百万円]</p>	<p>⑧ 現在の費用対効果(B/C) [基準年 H26年]</p> <p>事業全体B/C=0.9(8,659/10,151) 残事業B/C=8.2(7,328/889)</p>																																										
<p>⑥ H26年度以降残事業費</p> <p>1,124百万円 [1,510百万円]</p>	<p>⑨ 前回費用対効果(B/C) [基準年 H21年]</p> <p>事業全体B/C=1.1(9,697/8,963) 残事業B/C=7.5(8,865/1,178)</p>																																										
<p>⑩ 便益の内訳 (残事業)</p> <table border="0"> <tr> <td>走行時間短縮便益</td> <td>5,883百万円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>[6,961百万円]</td> </tr> <tr> <td>走行経費減少便益</td> <td>1,114百万円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>[1,311百万円]</td> </tr> <tr> <td>交通事故減少便益</td> <td>98百万円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>[157百万円]</td> </tr> <tr> <td>その他の便益</td> <td>234百万円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>[436百万円]</td> </tr> <tr> <td>その他の便益：内訳</td> <td></td> </tr> <tr> <td>冬期便益</td> <td>234百万円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>[436百万円]</td> </tr> <tr> <td>休日観光便益</td> <td>0百万円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>[－百万円]</td> </tr> <tr> <td>災害便益</td> <td>0百万円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>[－百万円]</td> </tr> </table>	走行時間短縮便益	5,883百万円		[6,961百万円]	走行経費減少便益	1,114百万円		[1,311百万円]	交通事故減少便益	98百万円		[157百万円]	その他の便益	234百万円		[436百万円]	その他の便益：内訳		冬期便益	234百万円		[436百万円]	休日観光便益	0百万円		[－百万円]	災害便益	0百万円		[－百万円]	<p>⑪ 費用の内訳 (残事業)</p> <table border="0"> <tr> <td>総費用</td> <td>889百万円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>[1,178百万円]</td> </tr> <tr> <td>総事業費</td> <td>886百万円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>[1,174百万円]</td> </tr> <tr> <td>維持管理費</td> <td>3百万円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>[4百万円]</td> </tr> </table>	総費用	889百万円		[1,178百万円]	総事業費	886百万円		[1,174百万円]	維持管理費	3百万円		[4百万円]
走行時間短縮便益	5,883百万円																																										
	[6,961百万円]																																										
走行経費減少便益	1,114百万円																																										
	[1,311百万円]																																										
交通事故減少便益	98百万円																																										
	[157百万円]																																										
その他の便益	234百万円																																										
	[436百万円]																																										
その他の便益：内訳																																											
冬期便益	234百万円																																										
	[436百万円]																																										
休日観光便益	0百万円																																										
	[－百万円]																																										
災害便益	0百万円																																										
	[－百万円]																																										
総費用	889百万円																																										
	[1,178百万円]																																										
総事業費	886百万円																																										
	[1,174百万円]																																										
維持管理費	3百万円																																										
	[4百万円]																																										

※ ④～⑥、⑩、⑪の[]内は前回再評価時の数値

※ 総事業費：事業に必要な調査設計費、用地買収費、工事費、事務的経費等の総額

※ 総費用：総事業費に維持管理費(下水道事業は更新費用も含む)を加え、その金額を現在価値化したもの

2 評価の視点

<p>⑫事業の進捗が遅れている理由（前回評価時からの変化、遅れを取り戻す工夫や取組状況も併せて記載）</p> <ul style="list-style-type: none">・用地交渉において、不測の時間を要した。
<p>⑬事業を継続することにより発揮される効果（前回評価時からの変化についても記載）</p> <ul style="list-style-type: none">・大型車すれ違い困難区間の解消・第2次緊急輸送道路としての機能強化・第2次医療施設(村上総合病院)へのアクセス向上・主要な観光施設(笹川流れ)へのアクセス向上
<p>⑭便益として貨幣換算していないが、事業により見込まれる効果</p> <ul style="list-style-type: none">・第2次緊急輸送道路として機能強化が図られ、雪や災害に強い道路ネットワークが形成・第2次医療施設である村上総合病院へのアクセスが向上し、搬送時間短縮による救命率が向上・主要な観光施設(笹川流れ)へのアクセス向上による、観光入込客数の増加
<p>⑮社会経済情勢の変化（前回評価時からの変化についても記載）</p> <ul style="list-style-type: none">・平成20年4月1日に村上市、荒川町、神林村、朝日村、山北町の5市町村が合併し、人口66,445人（H22国勢調査）の新市「村上市」が誕生。・日本海東北自動車道の県内唯一の未開通区間である朝日まほろばIC～あつみ温泉IC間は平成25年5月に「朝日温海道路」として新規事業化
<p>⑯B/Cの変化の要因（前回評価時から需要予測等の変化、全体事業費の変化要因について記載）</p> <ul style="list-style-type: none">・前回再評価時：平成17年度道路交通センサスを基にした平成42年の将来交通量は、22百台/日・最新データ：平成17年度道路交通センサスを基にした平成42年将来交通量は、22百台/日・供用予定年の遅延
<p>⑰コスト縮減、代替案の可能性（前回評価時からの変化についても記載）</p> <ul style="list-style-type: none">・前回（H21）のコスト縮減した計画を最適案と考えており、今回コスト縮減および代替案は考えていない。
<p>⑱関係機関等の意向、関連事業と調整状況等（前回評価時からの変化についても記載）</p> <ul style="list-style-type: none">・村上市は、沿線市町村と共に「一般国道345号期成同盟会」を結成し、国・県に対し積極的に要望活動を行っている。

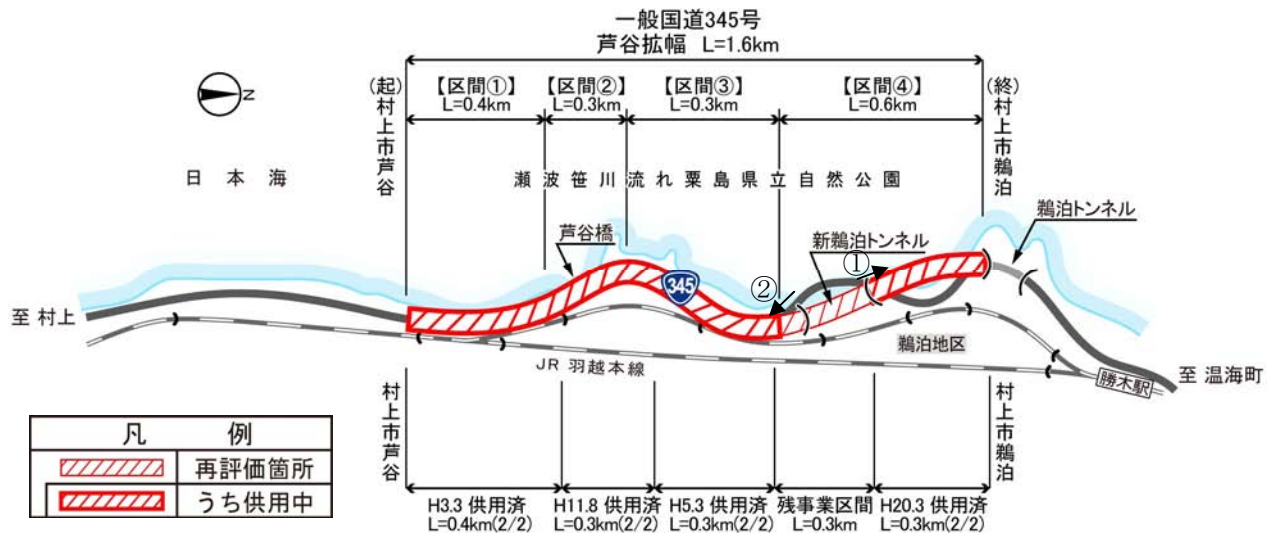
3 今後の実施方針（案） ※今後の見通しを併せて記載のこと

平成29年度末までに全線供用し、事業完了予定である。
来年度以降も事業を継続したい。

4 経緯

区 分	当初(S61)	計画変更(H4)	計画変更(H10)	前々回再評価(H19)	前回再評価(H21)
工 期	S61～H10年代前半	S61～H10年代前半	S61～H10年代後半	S61～H20年代後半	S61～H28年
総事業費	2,800百万円	3,660百万円	8,000百万円	9,400百万円	6,600百万円
事業内容	現道拡幅整備 延長 L=1.9km 橋梁1橋	現道拡幅整備 (一部バイパス整備) 延長 L=2.7km 橋梁1橋 トンネル1箇所	現道拡幅整備 (一部バイパス整備) 延長 L=2.7km 橋梁1橋 トンネル3箇所	現道拡幅整備 (一部バイパス整備) 延長 L=2.7km 橋梁1橋 トンネル3箇所	現道拡幅整備 (一部バイパス整備) 延長 L=1.6km 橋梁1橋 トンネル1箇所
費用対効果 (B/C)	B/C=- (=)	B/C=- (=)	B/C=- (=)	B/C=9.5 残事業 (=32,879/3,443)	B/C=7.5 残事業 (=8,865/1,178)

事業概要図



平成26年度 再評価実施後5年経過した事業箇所の再評価項目表

事業主体	新潟県	事業名	社会資本整備総合交付金（道路事業）
事業箇所	岩船郡関川村桂～胎内市小長谷地内	路線名	一般国道290号 桂小長谷バイパス

1 事業の概要

<p>① 事業の目的・効果・必要性等</p> <p>一般国道290号は、村上市を起点とし、魚沼市に至る幹線道路である。 しかし、当該事業区間における現道は、幅員狭小、線形不良の隘路区間であり、またJR米坂線の踏切交差もあり、交通に支障をきたしている状況である。 桂小長谷バイパスは、幅員狭小、線形不良の交通障害箇所を迂回し、安全で円滑な交通の確保を目的とした延長約4.0kmの2車線バイパス整備事業である。</p>																																											
<p>② 事業内容</p> <p>L=4.0km バイパス整備 橋梁5橋</p>	<p>③ 残事業内容</p> <p>L=1.0km バイパス整備 橋梁1橋</p>																																										
<p>④ 総事業費</p> <p>6,100百万円 [7,500百万円]</p>	<p>⑦ 進捗率（事業費ベース）</p> <p>90.2% (=5,500/6,100)</p>																																										
<p>⑤ 執行済事業費</p> <p>5,500百万円 [4,473百万円]</p>	<p>⑧ 現在の費用対効果(B/C) [基準年 H26年]</p> <p>事業全体B/C=0.3(2,248/7,846) 残事業B/C=2.7(875/326)</p>																																										
<p>⑥ H26年度以降残事業費</p> <p>600百万円 [3,027百万円]</p>	<p>⑨ 前回費用対効果(B/C) [基準年 H21年]</p> <p>事業全体B/C=0.8(6,492/8,198) 残事業B/C=2.5(5,087/2,036)</p>																																										
<p>⑩ 便益の内訳 (残事業)</p> <table border="0"> <tr> <td>走行時間短縮便益</td> <td>716百万円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>[4,564百万円]</td> </tr> <tr> <td>走行経費減少便益</td> <td>112百万円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>[296百万円]</td> </tr> <tr> <td>交通事故減少便益</td> <td>16百万円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>[37百万円]</td> </tr> <tr> <td>その他の便益</td> <td>30百万円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>[190百万円]</td> </tr> <tr> <td>その他の便益：内訳</td> <td></td> </tr> <tr> <td>冬期便益</td> <td>30百万円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>[190百万円]</td> </tr> <tr> <td>休日観光便益</td> <td>0百万円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>[- 百万円]</td> </tr> <tr> <td>災害便益</td> <td>0百万円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>[- 百万円]</td> </tr> </table>	走行時間短縮便益	716百万円		[4,564百万円]	走行経費減少便益	112百万円		[296百万円]	交通事故減少便益	16百万円		[37百万円]	その他の便益	30百万円		[190百万円]	その他の便益：内訳		冬期便益	30百万円		[190百万円]	休日観光便益	0百万円		[- 百万円]	災害便益	0百万円		[- 百万円]	<p>⑪ 費用の内訳 (残事業)</p> <table border="0"> <tr> <td>総費用</td> <td>326百万円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>[2,036百万円]</td> </tr> <tr> <td>総事業費</td> <td>353百万円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>[2,107百万円]</td> </tr> <tr> <td>維持管理費</td> <td>-27百万円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>[-71百万円]</td> </tr> </table>	総費用	326百万円		[2,036百万円]	総事業費	353百万円		[2,107百万円]	維持管理費	-27百万円		[-71百万円]
走行時間短縮便益	716百万円																																										
	[4,564百万円]																																										
走行経費減少便益	112百万円																																										
	[296百万円]																																										
交通事故減少便益	16百万円																																										
	[37百万円]																																										
その他の便益	30百万円																																										
	[190百万円]																																										
その他の便益：内訳																																											
冬期便益	30百万円																																										
	[190百万円]																																										
休日観光便益	0百万円																																										
	[- 百万円]																																										
災害便益	0百万円																																										
	[- 百万円]																																										
総費用	326百万円																																										
	[2,036百万円]																																										
総事業費	353百万円																																										
	[2,107百万円]																																										
維持管理費	-27百万円																																										
	[-71百万円]																																										

※ ④～⑥、⑩、⑪の[]内は前回再評価時の数値

※ 総事業費：事業に必要な調査設計費、用地買収費、工事費、事務的経費等の総額

※ 総費用：総事業費に維持管理費(下水道事業は更新費用も含む)を加え、その金額を現在価値化したもの

2 評価の視点

<p>⑫事業の進捗が遅れている理由（前回評価時からの変化、遅れを取り戻す工夫や取組状況も併せて記載）</p> <ul style="list-style-type: none">・用地交渉において不測の時間を要した。
<p>⑬事業を継続することにより発揮される効果（前回評価時からの変化についても記載）</p> <ul style="list-style-type: none">・大型車すれ違い困難区間の解消・第2次緊急輸送道路としての機能強化・第2次医療施設（県立坂町病院）へのアクセス向上・主要な観光施設（胎内リゾート）へのアクセス向上
<p>⑭便益として貨幣換算していないが、事業により見込まれる効果</p> <ul style="list-style-type: none">・第2次緊急輸送道路として機能強化が図られ、雪や災害に強い道路ネットワークが形成・第2次医療施設である村上総合病院へのアクセスが向上し、搬送時間短縮による救命率が向上・主要な観光施設（胎内リゾート）へのアクセス向上による、観光入込客数の増加・JR米坂線との交差を立体交差となるため、安全で円滑な交通が確保できる。
<p>⑮社会経済情勢の変化（前回評価時からの変化についても記載）</p> <ul style="list-style-type: none">・平成20年4月1日に村上市、荒川町、神林村、朝日村、山北町の5市町村が合併し、人口66,445人（H22年国勢調査）の新市「村上市」が誕生。
<p>⑯B/Cの変化の要因（前回評価時から需要予測等の変化、全体事業費の変化要因について記載）</p> <ul style="list-style-type: none">・前回再評価時：平成17年度道路交通センサスを基にした平成42年将来交通量は、30百台/日・最新データ：平成17年度道路交通センサスを基にした平成42年将来交通量は、11百台/日・計画区間見直しにより、将来交通量が減少し、便益額も減少した。
<p>⑰コスト縮減、代替案の可能性（前回評価時からの変化についても記載）</p> <ul style="list-style-type: none">・歩行者交通のネットワークを見直し、一部区間の歩道計画を両側歩道から片側歩道へ計画変更を行うことでコスト縮減を図った。・（仮称）新高田橋の架替えは、維持補修の継続による現橋の活用を図ることに見直し、コスト縮減を図る。・このため、（仮称）新高田橋架替箇所を含む起点から国道113号までの区間（L=2.4km）は計画区間から削除した。
<p>⑱関係機関等の意向、関連事業と調整状況等（前回評価時からの変化についても記載）</p> <ul style="list-style-type: none">・沿線市町村で構成される「一般国道290号新発田・村上間改良促進期成同盟会」を組織し、国・県に積極的に要望活動を行っている。

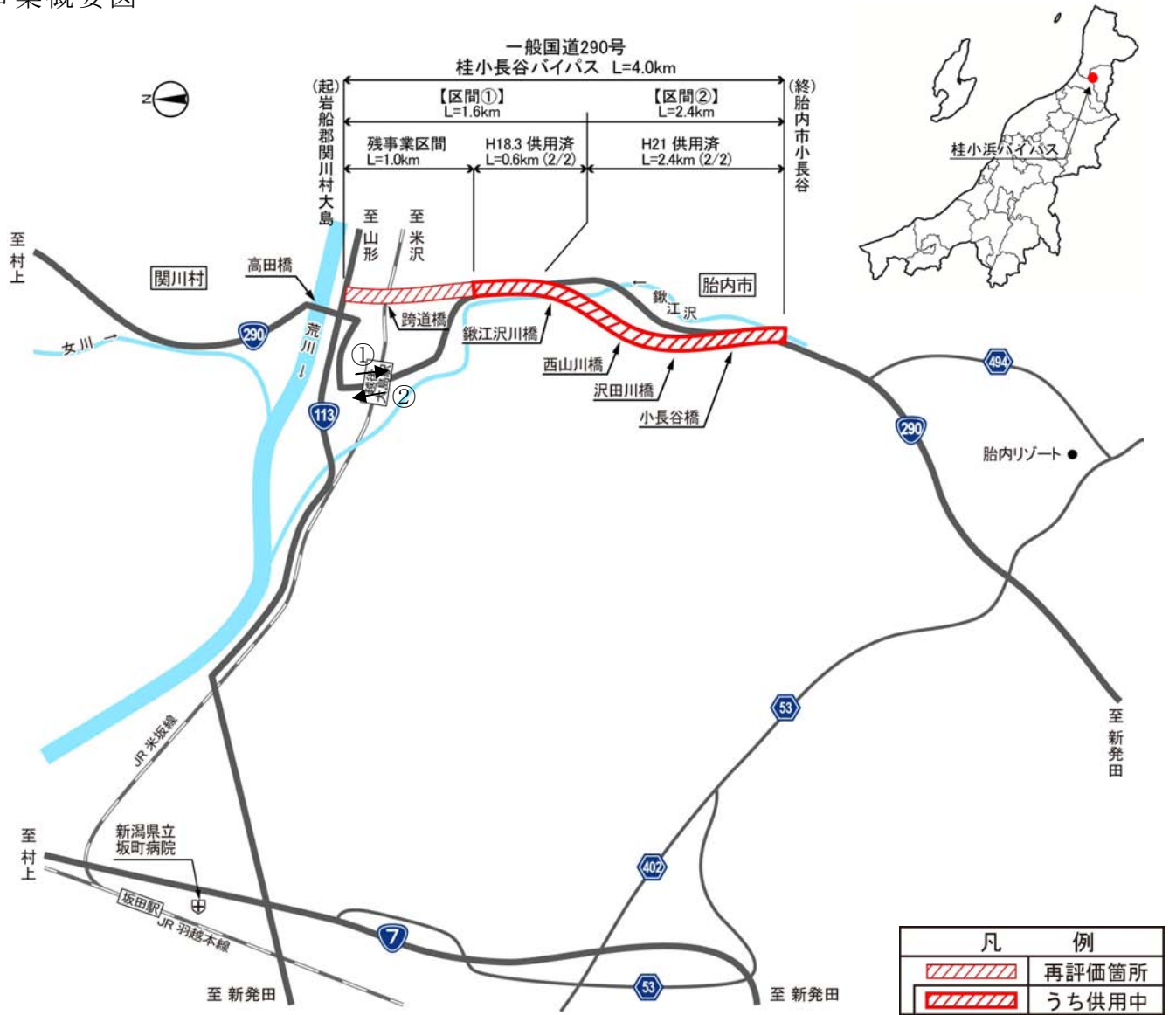
3 今後の実施方針（案） ※今後の見通しを併せて記載のこと

改良工事を順次進め、早期の全線完了を目指す。
来年度以降も事業を継続したい。

4 経緯

区分	当初(H4)	前々回再評価(H18)	前回再評価(H21)
工期	H4～H10年代中頃	H4～H20年代後半末	H4～H27年
総事業費	5,500百万円	7,500百万円	7,500百万円
事業内容	バイパス整備事業 延長 L=6.4km 橋梁6橋	バイパス整備事業 延長 L=6.4km 橋梁6橋	バイパス整備事業 延長 L=6.4km 橋梁6橋
費用対効果 (B/C)	B/C=- (=)	B/C=3.0 残事業 (= 9,631/3,202)	B/C=2.5 残事業 (= 5,087/2,036)

事業概要図



平成26年度 再評価実施後5年経過した事業箇所の再評価項目表

事業主体	新潟県	事業名	社会資本整備総合交付金（道路事業）
事業箇所	柏崎市安政町～柏崎市松波地内	路線名	一般国道352号 松波拡幅

1 事業の概要

<p>① 事業の目的・効果・必要性等</p> <p>一般国道352号は、柏崎市を起点とし、栃木県河内郡上三川町に至る幹線道路である。しかし、当該事業区間は、柏崎市街地で通勤等の交通量が多く、かつ、交差点に右折レーンが無い場合慢性渋滞が発生し、円滑な交通に支障をきたしている。</p> <p>また、柏崎市立荒浜小学校の児童も通学路として利用しているが、歩道幅員が狭小のため、歩行者と車両との錯綜により通行に支障を来している状況である。</p> <p>松波拡幅は、幅員狭小を改善し、かつ連続した歩道を整備することにより、渋滞を緩和し、交通の円滑化を図るとともに歩行者の安全性確保を目的とした延長約1.6kmの現道拡幅事業である。</p>																																											
<p>② 事業内容</p> <p>L=1.6km 現道拡幅事業 橋梁1橋</p>	<p>③ 残事業内容</p> <p>L=1.0km 現道拡幅事業</p>																																										
<p>④ 総事業費</p> <p>4,416百万円 [5,400百万円]</p>	<p>⑦ 進捗率（事業費ベース）</p> <p>95.4% (=4,211/4,416)</p>																																										
<p>⑤ 執行済事業費</p> <p>4,211百万円 [2,381百万円]</p>	<p>⑧ 現在の費用対効果(B/C) [基準年 H26年]</p> <p>事業全体B/C=0.9(4,628/5,197) 残事業B/C=43.5(2,877/66)</p>																																										
<p>⑥ H26年度以降残事業費</p> <p>205百万円 [3,019百万円]</p>	<p>⑨ 前回費用対効果(B/C) [基準年 H21年]</p> <p>事業全体B/C=0.8(3,905/5,140) 残事業B/C=1.4(2,891/2,071)</p>																																										
<p>⑩ 便益の内訳 (残事業)</p> <table border="0"> <tr> <td>走行時間短縮便益</td> <td>2,309百万円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>[2,136百万円]</td> </tr> <tr> <td>走行経費減少便益</td> <td>360百万円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>[417百万円]</td> </tr> <tr> <td>交通事故減少便益</td> <td>139百万円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>[150百万円]</td> </tr> <tr> <td>その他の便益</td> <td>69百万円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>[187百万円]</td> </tr> <tr> <td>その他の便益：内訳</td> <td></td> </tr> <tr> <td>冬期便益</td> <td>69百万円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>[187百万円]</td> </tr> <tr> <td>休日観光便益</td> <td>0百万円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>[- 百万円]</td> </tr> <tr> <td>災害便益</td> <td>0百万円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>[- 百万円]</td> </tr> </table>	走行時間短縮便益	2,309百万円		[2,136百万円]	走行経費減少便益	360百万円		[417百万円]	交通事故減少便益	139百万円		[150百万円]	その他の便益	69百万円		[187百万円]	その他の便益：内訳		冬期便益	69百万円		[187百万円]	休日観光便益	0百万円		[- 百万円]	災害便益	0百万円		[- 百万円]	<p>⑪ 費用の内訳 (残事業)</p> <table border="0"> <tr> <td>総費用</td> <td>66百万円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>[2,071百万円]</td> </tr> <tr> <td>総事業費</td> <td>66百万円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>[2,071百万円]</td> </tr> <tr> <td>維持管理費</td> <td>0百万円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>[0百万円]</td> </tr> </table>	総費用	66百万円		[2,071百万円]	総事業費	66百万円		[2,071百万円]	維持管理費	0百万円		[0百万円]
走行時間短縮便益	2,309百万円																																										
	[2,136百万円]																																										
走行経費減少便益	360百万円																																										
	[417百万円]																																										
交通事故減少便益	139百万円																																										
	[150百万円]																																										
その他の便益	69百万円																																										
	[187百万円]																																										
その他の便益：内訳																																											
冬期便益	69百万円																																										
	[187百万円]																																										
休日観光便益	0百万円																																										
	[- 百万円]																																										
災害便益	0百万円																																										
	[- 百万円]																																										
総費用	66百万円																																										
	[2,071百万円]																																										
総事業費	66百万円																																										
	[2,071百万円]																																										
維持管理費	0百万円																																										
	[0百万円]																																										

※ ④～⑥、⑩、⑪の[]内は前回再評価時の数値

※ 総事業費：事業に必要な調査設計費、用地買収費、工事費、事務的経費等の総額

※ 総費用：総事業費に維持管理費(下水道事業は更新費用も含む)を加え、その金額を現在価値化したもの

2 評価の視点

⑫事業の進捗が遅れている理由（前回評価時からの変化、遅れを取り戻す工夫や取組状況も併せて記載）

- ・ 前回評価から概ね計画通りに進捗している。

⑬事業を継続することにより発揮される効果（前回評価時からの変化についても記載）

- ・ 市街地部の渋滞解消
- ・ 第2次緊急輸送道路としての機能強化
- ・ 特急駅である柏崎駅へのアクセス向上
- ・ 歩道の設置により通学時等の歩行者の安全性が向上

⑭便益として貨幣換算していないが、事業により見込まれる効果

- ・ 第2次緊急輸送道路として機能強化が図られ、雪や災害に強い道路ネットワークが形成
- ・ バス路線の定時制確保
- ・ 歩道の設置により通学時等の歩行者の安全性が向上

⑮社会経済情勢の変化（前回評価時からの変化についても記載）

- ・ 平成17年5月1日に刈羽郡西山町、同郡高柳町を編入し、人口91,451人(H22国勢調査)の柏崎市が誕生

⑯B/Cの変化の要因（前回評価時から需要予測等の変化、全体事業費の変化要因について記載）

- ・ 前回再評価時：平成17年度道路交通センサスを基にした平成42年将来交通量は、83百台/日
- ・ 最新データ：平成17年度道路交通センサスを基にした平成42年の将来交通量は、83百台/日
- ・ コスト縮減により事業費が減少した。

⑰コスト縮減、代替案の可能性（前回評価時からの変化についても記載）

- ・ 右折可能な交差点を集約することによる幅員の見直し(W=19.5m→16.5m)を行い、コスト縮減を図った。

⑱関係機関等の意向、関連事業と調整状況等（前回評価時からの変化についても記載）

- ・ 「一般国道352号柏崎魚沼間改良整備促進期成同盟会」を結成し、早期供用のため要望を行っている。

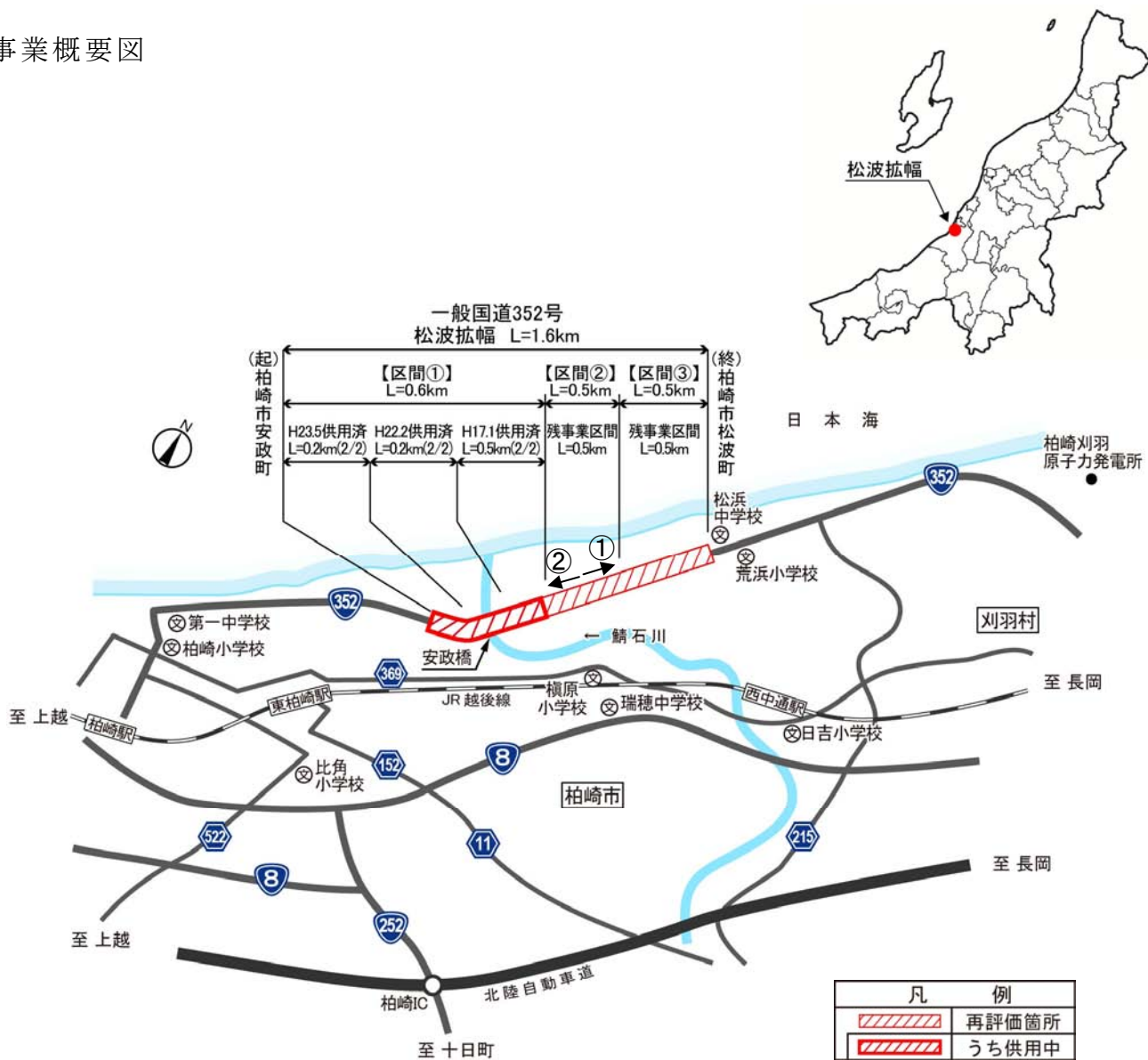
3 今後の実施方針（案） ※今後の見通しを併せて記載のこと

平成28年度末までに全線供用し、事業完了予定である。
来年度以降も事業を継続したい。

4 経緯

区分	当初(H10)	前々回再評価(H19)	前回再評価(H21)	
工期	H10～H10年代後	H10～H20年代後半	H10～H28年	
総事業費	3,000百万円	5,400百万円	5,400百万円	
事業内容	現道拡幅整備 延長 L=1.6km 橋梁1橋	現道拡幅整備 延長 L=1.6km 橋梁1橋	現道拡幅整備 延長 L=1.6km 橋梁1橋	
費用対効果 (B/C)	B/C= (=)	B/C=1.8 残事業 (=6,049/3,389)	B/C=1.4 残事業 (=2,891/2,071)	

事業概要図



【 現道状況① 】



【 現道状況② 】



2 評価の視点

⑫事業の進捗が遅れている理由（前回評価時からの変化、遅れを取り戻す工夫や取組状況も併せて記載）

- ・当初想定より広範囲に遺跡が確認され、発掘調査に時間を要した。

⑬事業を継続することにより発揮される効果（前回評価時からの変化についても記載）

- ・第2次緊急輸送道路としての機能強化
- ・第2次医療施設（県立十日町病院）へのアクセス向上
- ・大型車すれ違い困難区間の解消
- ・日常活動圏の中心都市へのアクセス向上
- ・歩道の設置により通学時等の歩行者の安全性が向上

⑭便益として貨幣換算していないが、事業により見込まれる効果

- ・第2次緊急輸送道路として機能強化が図られ、雪や災害に強い道路ネットワークが形成
- ・第2次医療施設である県立十日町病院へのアクセスが向上し、搬送時間短縮による救命率が向上
- ・JR飯山線との交差は立体交差となるため、安全で円滑な交通が確保できる。
- ・歩道の設置により通学時等の歩行者の安全性が向上

⑮社会経済情勢の変化（前回評価時からの変化についても記載）

- ・平成17年4月1日に十日町市、川西町、中里村、松代町、松之山町が合併して、人口58,911（H22年国勢調査）の新十日町市が誕生した。

⑯B/Cの変化の要因（需要予測等の変化、全体事業費の変化要因について記載）

- ・前回再評価時：平成17年度道路交通センサスを基にした平成42年将来交通量は、22百台/日
- ・最新データ：平成17年度道路交通センサスを基にした平成42年将来交通量は、22百台/日
- ・供用予定年の遅延

⑰コスト縮減、代替案の可能性（前回評価時からの変化についても記載）

- ・発生残土を他事業へ有効利用することでコスト縮減を図っている。

⑱関係機関等の意向、関連事業と調整状況等（前回評価時からの変化についても記載）

- ・中里地域まちづくり協議会および十日町地域土木振興会からは計画区間内の安全で円滑な交通を図るよう、早期全線供用を要望されている。

3 今後の実施方針（案） ※今後の見通しを併せて記載のこと

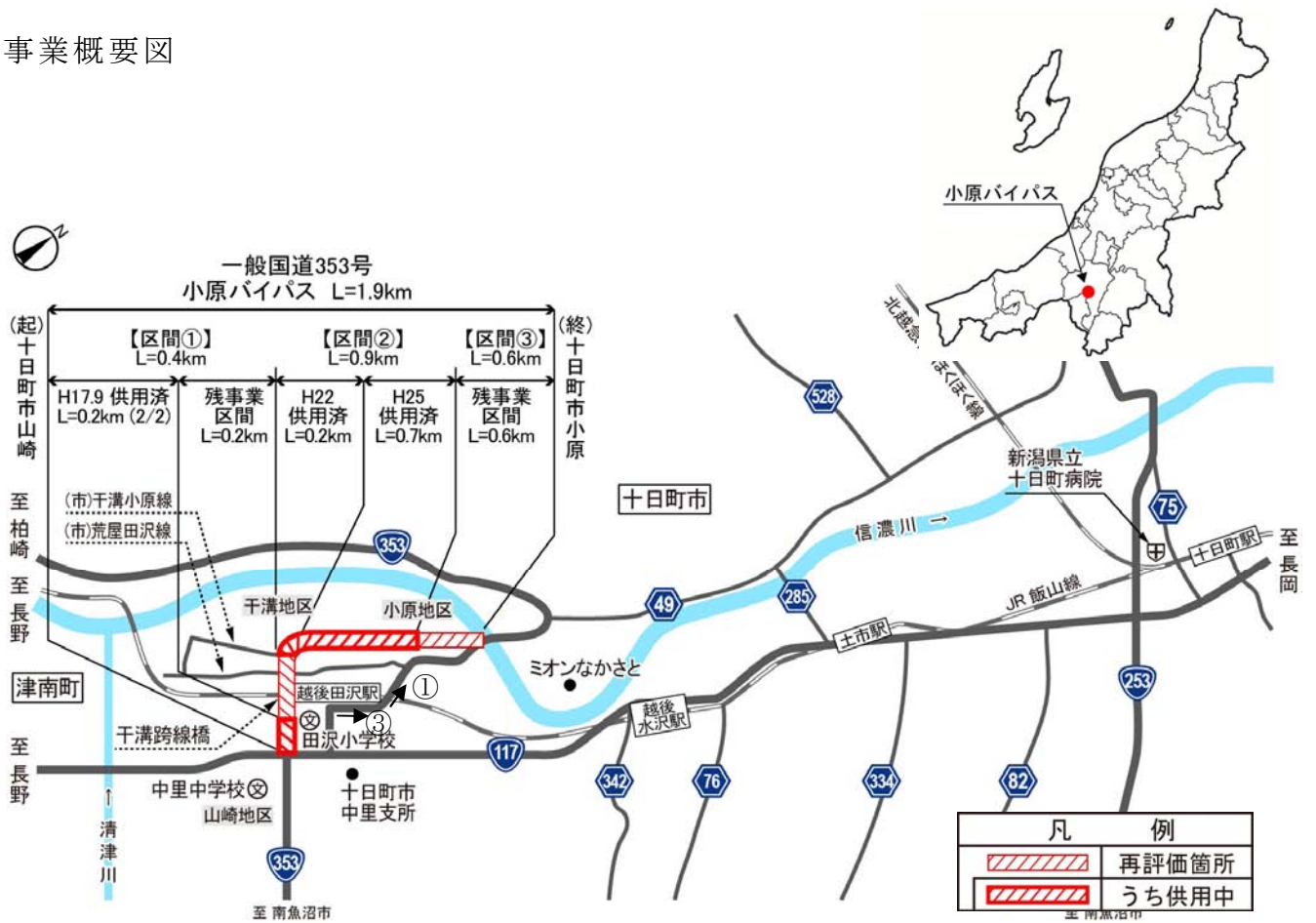
平成28年度末までに全線供用し、事業完了予定である。

来年度以降も事業を継続したい。

4 経緯

区分	当初(H12)	前回再評価(H21)		
工期	H12~H19年	H12~H27年		
総事業費	2,200百万円	2,200百万円		
事業内容	バイパス整備 延長 L=1.9km 橋梁 1橋	バイパス整備 延長 L=1.9km 橋梁 1橋		
費用対効果 (B/C)	B/C=- (=)	B/C=1.7 残事業 (= 2,456/1,449)		

事業概要図



平成26年度 再評価実施後5年経過した事業箇所の再評価項目表

事業主体	新潟県	事業名	社会資本整備総合交付金(道路事業)
事業箇所	佐渡市真更川～佐渡市北鶴島地内	路線名	主要地方道佐渡一周線(外海府海岸北道路)

1 事業の概要

<p>① 事業の目的・効果・必要性等</p> <p>主要地方道佐渡一周線は、佐渡市窪田を起点とし佐渡市椿尾に至る佐渡島を外周し、島内交通網の骨格道路と位置付けられる主要な幹線道路であり、また、観光拠点(大野亀、二つ亀等)へのアクセス路、生活基盤を支える重要な生活路線である。</p> <p>しかし、当該工区は、急勾配、幅員狭小で大型車の通行が不可能であり、これらの交通支障箇所の解消が急務な状況である。</p> <p>外海府海岸北道路は、道路防災点検危険箇所・交通支障箇所の解消を図るとともに、地域住民、観光客が安全で安心して通行できる道路の確保及び災害時における交通の確保を目的とした延長3.5kmの現道拡幅事業である。</p>																																											
<p>② 事業内容</p> <p>L=3.5km 現道拡幅事業 橋梁 3橋</p>	<p>③ 残事業内容</p> <p>L=3.2km 現道拡幅事業 橋梁 3橋</p>																																										
<p>④ 総事業費</p> <p>5,543百万円[5,543百万円]</p>	<p>⑦ 進捗率(事業費ベース)</p> <p>17.1%(=948/5,543)</p>																																										
<p>⑤ 執行済事業費</p> <p>948百万円[284百万円]</p>	<p>⑧ 現在の費用対効果(B/C)[基準年 H26年]</p> <p>全体 B/C=0.2(9.4/46.6) 残事業 B/C=0.3(8.9/34.5)</p>																																										
<p>⑥ H26年度以降残事業費</p> <p>4,595百万円[5,259百万円]</p>	<p>⑨ 前回費用対効果(B/C)[基準年 H21年]</p> <p>事業全体B/C=0.4(14.1/39.8) 残事業B/C=0.4(13.8/35.7)</p>																																										
<p>⑩ 便益の内訳(残事業)</p> <table border="0"> <tr> <td>走行時間短縮便益</td> <td>434百万円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>[292百万円]</td> </tr> <tr> <td>走行経費減少便益</td> <td>40百万円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>[16百万円]</td> </tr> <tr> <td>交通事故減少便益</td> <td>8百万円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>[1百万円]</td> </tr> <tr> <td>その他便益</td> <td>405百万円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>[1,072百万円]</td> </tr> <tr> <td colspan="2">その他の便益：内訳</td> </tr> <tr> <td>冬期便益</td> <td>4百万円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>[2百万円]</td> </tr> <tr> <td>休日観光便益</td> <td>27百万円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>[3百万円]</td> </tr> <tr> <td>災害便益</td> <td>374百万円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>[1,067百万円]</td> </tr> </table>	走行時間短縮便益	434百万円		[292百万円]	走行経費減少便益	40百万円		[16百万円]	交通事故減少便益	8百万円		[1百万円]	その他便益	405百万円		[1,072百万円]	その他の便益：内訳		冬期便益	4百万円		[2百万円]	休日観光便益	27百万円		[3百万円]	災害便益	374百万円		[1,067百万円]	<p>⑪ 費用の内訳(残事業)</p> <table border="0"> <tr> <td>総費用</td> <td>3,448百万円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>[3,566百万円]</td> </tr> <tr> <td>総事業費</td> <td>3,478百万円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>[3,568百万円]</td> </tr> <tr> <td>維持管理費</td> <td>-30百万円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>[-2百万円]</td> </tr> </table>	総費用	3,448百万円		[3,566百万円]	総事業費	3,478百万円		[3,568百万円]	維持管理費	-30百万円		[-2百万円]
走行時間短縮便益	434百万円																																										
	[292百万円]																																										
走行経費減少便益	40百万円																																										
	[16百万円]																																										
交通事故減少便益	8百万円																																										
	[1百万円]																																										
その他便益	405百万円																																										
	[1,072百万円]																																										
その他の便益：内訳																																											
冬期便益	4百万円																																										
	[2百万円]																																										
休日観光便益	27百万円																																										
	[3百万円]																																										
災害便益	374百万円																																										
	[1,067百万円]																																										
総費用	3,448百万円																																										
	[3,566百万円]																																										
総事業費	3,478百万円																																										
	[3,568百万円]																																										
維持管理費	-30百万円																																										
	[-2百万円]																																										

※ ④～⑥、⑩、⑪の[]内は前回再評価時の数値

※ 総事業費：事業に必要な調査設計費、用地買収費、工事費、事務的経費等の総額

※ 総費用：総事業費に維持管理費(下水道事業は更新費用も含む)を加え、その金額を現在価値化したもの

2 評価の視点

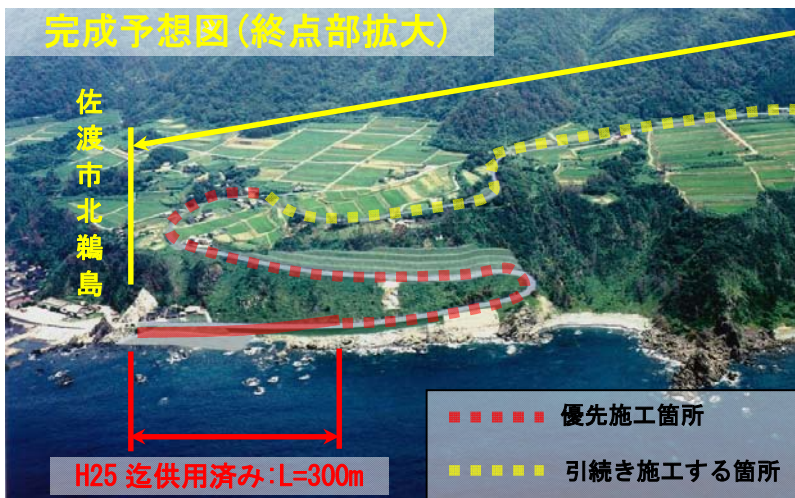
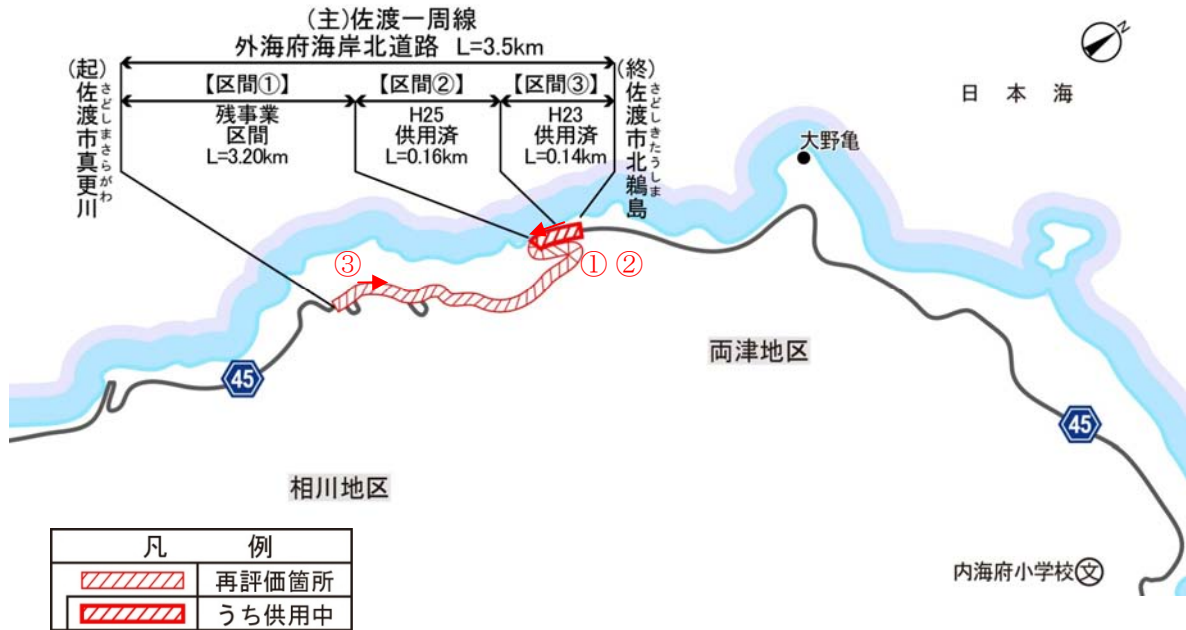
<p>⑫事業の進捗が遅れている理由（前回評価時からの変化、遅れを取り戻す工夫や取組状況も併せて記載）</p> <p>当該箇所は、名勝指定地のため、文化庁協議を要する箇所である。文化庁協議による計画の見直しや工法変更等に不測の年数を要した。</p> <p>また、当該地区は冬期風浪の影響を受けやすく、強風に伴う、不測の不稼働日の発生など、施工期間が制限されている。</p>
<p>⑬事業を継続することにより発揮される効果（前回評価時からの変化についても記載）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・法面对策工実施による落石、法面崩壊等の災害危険箇所の解消。 ・観光バスをはじめとする大型車両通行不能区間の解消。 ・第2次緊急輸送道路としての機能強化。 ・第2次医療施設（佐渡総合病院）へのアクセス向上。 ・主要観光地（大野亀・ニッ亀）へのアクセス向上。
<p>⑭便益として貨幣換算していないが、事業により見込まれる効果</p> <p>本工区の整備により、大型車両の通行が可能となり、島内ネットワーク整備の観点からも、以下の効果が見込まれる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第2次医療施設（佐渡総合病院）への搬送時間が短縮され、救命率の向上が図られる。 ・新たな観光周遊が可能となり、観光振興が促進される。 ・物流経路改善による各産業の活性化が期待される。
<p>⑮社会経済情勢の変化（前回評価時からの変化についても記載）</p> <p>平成16年3月1日に両津市、相川町、佐和田町、金井町、新穂村、畑野町、真野町、小木町、羽茂町、赤泊村の10市町村が合併し、人口62,727人（H22国勢調査）に新市「佐渡市」が誕生。</p> <p>佐渡金山を含む「佐渡金銀山世界遺産」への登録に向けて、新潟県・佐渡市・地元地域による積極的な観光客の誘致活動が行われている（平成22年度にユネスコ世界遺産暫定リストに記載）。</p> <p>平成20年度以降トキの放鳥を実施しており、佐渡の観光資源としての付加価値が高まっている。</p>
<p>⑯B/Cの変化の要因（前回評価時から需要予測等の変化、全体事業費の変化要因について記載）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前回評価：平成17年度道路交通センサスを基にした平成42年将来交通量は、3百台/日 ・今回評価：平成17年度道路交通センサスを基にした平成42年将来交通量は、3百台/日
<p>⑰コスト縮減、代替案の可能性（前回評価時からの変化についても記載）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・同工区内の発生土や他工区発生土の転用を図り、資源の有効利用とコスト縮減に努めている。
<p>⑱関係機関等の意向、関連事業と調整状況等（前回評価時からの変化についても記載）</p> <p>佐渡市「新市建設計画」の骨格をなす幹線道路として、事業促進が望まれている。</p>

3 今後の実施方針（案） ※今後の見通しを併せて記載のこと

幅員狭小と落石危険箇所である終点側のヘアピンカーブを挟んだ区間800mについては特に交通上支障となっていることから、優先した事業進捗を行い、早期供用を図る。来年度以降も事業を継続したい。

4 経緯

区分	当初(H8)	前々回再評価(H17)	前回評価(H21)	
工期	H8～H24	H8～H28	H8～H32	
総事業費	80億円	55億円	55億円	
事業内容	現道拡幅事業 L=4.5km	現道拡幅事業 L=3.5km 橋梁4橋	現道拡幅事業 L=3.5km 橋梁4橋	
費用対効果 (B/C)	B/C= (= /)	B/C=1.8 残事業 (=66.6/38.0)	B/C=0.4 残事業 (=13.8/35.7)	



平成26年度 再評価実施後5年経過した事業箇所の再評価項目表

事業主体	新潟県	事業名	社会資本整備総合交付金(道路事業)
事業箇所	佐渡市松ヶ崎～佐渡市苅場地内	路線名	主要地方道佐渡一周線(前浜南道路)

1 事業の概要

<p>① 事業の目的・効果・必要性等</p> <p>主要地方道佐渡一周線は、佐渡市窪田を起点とし佐渡市椿尾に至る佐渡島を外周し、島内交通網の骨格道路と位置付けられる主要な幹線道路であり、また、観光拠点(鴻の背鼻灯台など)へのアクセス路線、生活基盤を支える重要な生活路線である。</p> <p>しかし、当該工区は、防災点検危険箇所が散在し、迂回路もなく、また、幅員狭小により、普通車両のすれ違いも困難である。</p> <p>このため、前浜地区で残った最後の未改良区間である当該工区の通行支障箇所の解消が急務な状況である。</p> <p>前浜南道路は、道路防災点検危険箇所・交通支障箇所の解消を図るとともに、地域住民、観光客が安全で安心して通行できる道路の確保及び災害時における交通の確保を目的とした延長約4.8kmの2車線バイパス整備事業である。</p>																																											
<p>② 事業内容</p> <p>L=4.8km バイパス整備事業 トンネル 2箇所 橋梁 3橋</p>	<p>③ 残事業内容</p> <p>L=2.6km バイパス整備事業 トンネル 1箇所 橋梁 3橋</p>																																										
<p>④ 事業費</p> <p>15,200百万円 [12,751百万円]</p>	<p>⑦ 進捗率(事業費ベース)</p> <p>71.1% (=10,803/15,200)</p>																																										
<p>⑤ 執行済事業費</p> <p>10,803百万円 [8,302百万円]</p>	<p>⑧ 現在の費用対効果(B/C) [基準年 H26年]</p> <p>事業全体 B/C=0.1(9.7/168.4) 残事業 B/C=0.1(3.1/32.7)</p>																																										
<p>⑥ H26年度以降残事業費</p> <p>4,397百万円 [4,449百万円]</p>	<p>⑨ 従前の費用対効果(B/C) [基準年 H21年]</p> <p>事業全体 B/C=0.1(8.0/128.3) 残事業 B/C=0.3(7.1/27.7)</p>																																										
<p>⑩ 便益の内訳(残事業)</p> <table border="0"> <tr> <td>走行時間短縮の便益</td> <td>253百万円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>[688百万円]</td> </tr> <tr> <td>走行経費減少の便益</td> <td>-16百万円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>[-137百万円]</td> </tr> <tr> <td>交通事故減少の便益</td> <td>-15百万円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>[-54百万円]</td> </tr> <tr> <td>その他便益</td> <td>88百万円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>[215百万円]</td> </tr> <tr> <td>その他の便益：内訳</td> <td></td> </tr> <tr> <td> 冬期便益</td> <td>2百万円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>[1百万円]</td> </tr> <tr> <td> 休日観光便益</td> <td>84百万円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>[111百万円]</td> </tr> <tr> <td> 災害便益</td> <td>2百万円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>[103百万円]</td> </tr> </table>	走行時間短縮の便益	253百万円		[688百万円]	走行経費減少の便益	-16百万円		[-137百万円]	交通事故減少の便益	-15百万円		[-54百万円]	その他便益	88百万円		[215百万円]	その他の便益：内訳		冬期便益	2百万円		[1百万円]	休日観光便益	84百万円		[111百万円]	災害便益	2百万円		[103百万円]	<p>⑪ 費用の内訳(残事業)</p> <table border="0"> <tr> <td>総費用</td> <td>3,273百万円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>[2,765百万円]</td> </tr> <tr> <td>総事業費</td> <td>3,282百万円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>[2,766百万円]</td> </tr> <tr> <td>維持管理費</td> <td>-9百万円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>[-2百万円]</td> </tr> </table>	総費用	3,273百万円		[2,765百万円]	総事業費	3,282百万円		[2,766百万円]	維持管理費	-9百万円		[-2百万円]
走行時間短縮の便益	253百万円																																										
	[688百万円]																																										
走行経費減少の便益	-16百万円																																										
	[-137百万円]																																										
交通事故減少の便益	-15百万円																																										
	[-54百万円]																																										
その他便益	88百万円																																										
	[215百万円]																																										
その他の便益：内訳																																											
冬期便益	2百万円																																										
	[1百万円]																																										
休日観光便益	84百万円																																										
	[111百万円]																																										
災害便益	2百万円																																										
	[103百万円]																																										
総費用	3,273百万円																																										
	[2,765百万円]																																										
総事業費	3,282百万円																																										
	[2,766百万円]																																										
維持管理費	-9百万円																																										
	[-2百万円]																																										

※ ④、⑩、⑪の[]内は「当初」又は「直近の計画変更」の際の数値

※ 総事業費：事業に必要な調査設計費、用地買収費、工事費、事務的経費等の総額

※ 総費用：総事業費に維持管理費(下水道事業は更新費用も含む)を加え、その金額を現在価値化したもの

2 評価の視点

⑫事業の進捗が遅れている理由（遅れを取り戻す工夫や取組状況も併せて記載のこと）

幅員狭小である現道は山と海岸に挟まれ、施工は限られた範囲内で現況交通を確保しながら実施しているが、交通切り回し形態等の検討や一般通行車両への防護工等の工事に時間を要した。

⑬事業を継続することにより発揮される効果

- ・落石、法面崩壊等の災害危険箇所の解消
- ・観光バス等の大型車すれ違い困難区間の解消。
- ・第2次緊急輸送道路としての機能強化。
- ・第2次医療施設（佐渡総合病院）へのアクセスの向上
- ・高齢者や小中学生が安全に通行できる歩行者空間の確保
- ・主要観光地（鴻の瀬鼻灯台など）や主要港（両津港、赤泊港）へのアクセスの向上

⑭便益として貨幣換算していないが、事業により見込まれる効果

本工区を含め、島内ネットワークとして整備することにより、以下の効果が見込まれる。

- ・第2次医療施設（佐渡総合病院）への搬送時間が短縮され、救命率の向上が図られる。
- ・新たな観光周遊が可能となり、観光振興が促進される。
- ・物流経路改善による各産業の活性化が期待される。

⑮社会経済情勢の変化

平成16年3月1日に両津市、相川町、佐和田町、金井町、新穂村、畑野町、真野町、小木町、羽茂町、赤泊村の10市町村が合併し、人口62,727人（H22国勢調査）に新市「佐渡市」が誕生。

佐渡金山を含む「佐渡金銀山世界遺産」への登録に向けて、新潟県・佐渡市・地元地域による積極的な観光客の誘致活動が行われている（平成22年度にユネスコ世界遺産暫定リストに記載）。

平成20年度以降トキの放鳥を実施しており、佐渡の観光資源としての付加価値が高まっている。

⑯B/Cの変化の要因（需要予測等の変化、全体事業費の変化要因について記載）

- ・前回評価：平成17年度道路交通センサスを基にした平成42年将来交通量は、7百台/日。
- ・今回評価：平成17年度道路交通センサスを基にした平成42年将来交通量は、7百台/日。
- ・泥弱な岩質による多田トンネル工事の掘削補助工法の大幅な増工による全体事業費の増工及び供用予定年の遅延。

⑰コスト縮減、代替案の可能性

- ・代替路線もなく、海岸と山に挟まれ、限られた用地内での事業箇所であり、代替案による計画の見直しは考えていない。
- ・同工区内の発生土や他工区発生土の転用を図り、資源の有効利用とコスト縮減に努めている。

⑱関係機関等の意向、関連事業と調整状況等

佐渡市「新市建設計画」の骨格をなす幹線道路として、事業促進が望まれている。

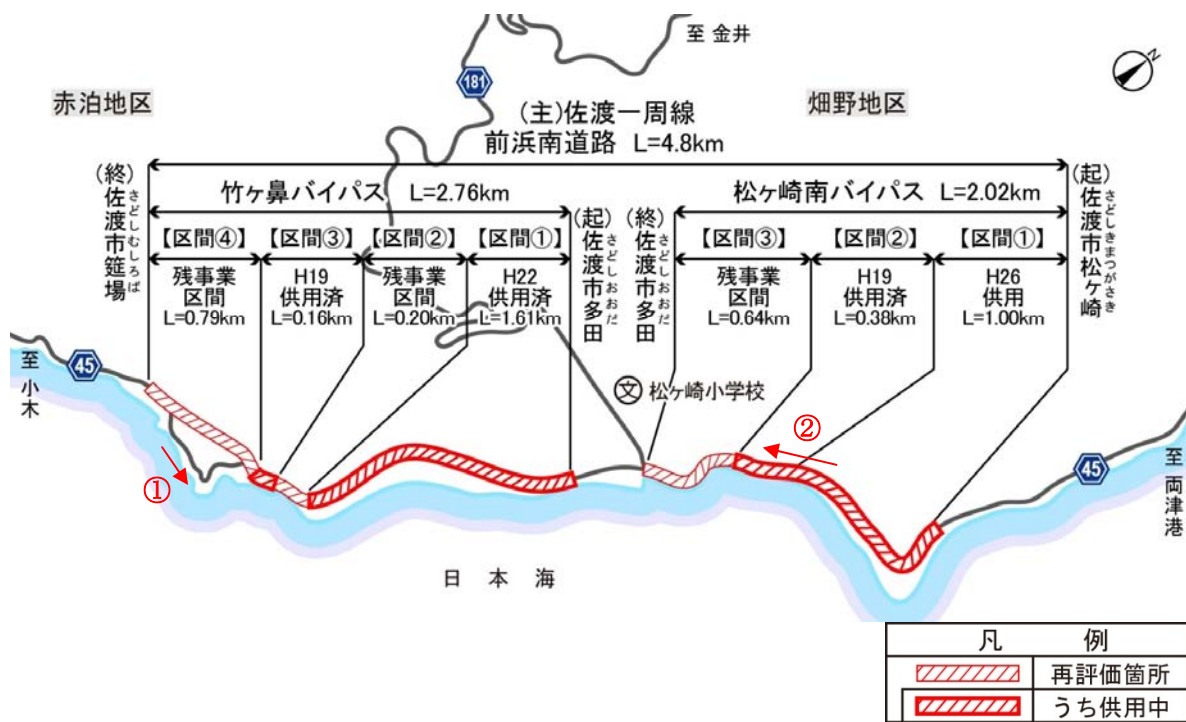
3 今後の実施方針（案） ※今後の見通しを併せて記載のこと

今年度は、松ヶ崎南バイパス区間のL=1.0kmが完成供用したことから、今後は松ヶ崎南バイパスの残区間及び竹ヶ鼻トンネルに着手し、改良工事を順次進め、早期の全線完了を目指す。

来年度以降も事業を継続したい。

4 経緯

区 分	当初(H12)	前回評価(H21)		
工 期	H12～H27	H12～H27		
総事業費	12,800百万円	12,751百万円		
事業内容	バイパス整備 L=5.5km トンネル 2箇所 橋梁 3橋	バイパス整備 L=5.4km トンネル 2箇所 橋梁 3橋		
費用対効果 (B/C)	B/C= (= /)	B/C=0.3 (=7.1/27.7)		



【幅員が狭くすれ違いが困難】

平成26年度公共事業再評価項目表

事業主体	新潟県	事業名	社会資本整備総合交付金（道路事業）
事業箇所	佐渡市沢崎～佐渡市江積地内	路線名	主要地方道佐渡一周線（小木半島道路）

1 事業の概要

<p>① 事業の目的・効果・必要性等</p> <p>主要地方道佐渡一周線は、佐渡市窪田を起点とし佐渡市椿尾に至る佐渡島を外周し、島内交通網の骨格道路と位置付けられる主要な幹線道路であり、また、観光拠点（佐渡小木海岸）へのアクセス路線、生活基盤を支える重要な生活路線とである。</p> <p>しかし、当該工区は、急勾配、幅員狭小による普通車両のすれ違いも困難であり、また、波浪による通行規制区間も有する。このため、佐渡島振興に欠かせない「観光」および、地域住民の生活に支障をきたしており、これらの通行支障箇所の解消が急務な状況である。</p> <p>小木半島道路は、交通支障箇所の解消、地域住民及び観光客が安全で安心して通行できる道路の確保及び災害時における交通の確保を目的とした延長約1.9kmの2車線バイパス整備事業である。</p>	
<p>② 事業内容</p> <p>L=1.9km バイパス整備事業</p>	<p>② 残事業内容</p> <p>L=1.5km バイパス整備事業</p>
<p>④ 総事業費</p> <p>1,252百万円 [1,252百万円]</p>	<p>⑦ 進捗率（事業費ベース）</p> <p>58.2% (=729/1,252)</p>
<p>⑤ 執行済事業費</p> <p>729百万円 [229百万円]</p>	<p>⑧ 現在の費用対効果(B/C) [基準年 H26年]</p> <p>全体 B/C=1.8(24.2/13.6) 残事業 B/C=3.7(17.2/4.7)</p>
<p>⑥ H26年度以降残事業費</p> <p>523百万円 [1,023百万円]</p>	<p>⑨ 前回費用対効果(B/C) [基準年 H21年]</p> <p>全体B/C=0.7 (7.2/10.4) 残事業B/C=0.9 (6.9/7.9)</p>
<p>⑩ 便益の内訳（残事業）</p> <p>走行時間短縮便益 617百万円 [596百万円]</p> <p>走行経費減少便益 -40百万円 [-29百万円]</p> <p>交通事故減少便益 -28百万円 [-24百万円]</p> <p>その他便益 1,174百万円 [145百万円]</p> <p>その他の便益：内訳</p> <p>冬期便益 5百万円 [5百万円]</p> <p>休日観光便益 18百万円 [0百万円]</p> <p>災害便益 1,151百万円 [140百万円]</p>	<p>⑪ 費用の内訳（残事業）</p> <p>総費用 471百万円 [785百万円]</p> <p>総事業費 409百万円 [711百万円]</p> <p>維持管理費 62百万円 [74百万円]</p>

※ ④、⑩、⑪の[]内は「当初」又は「直近の計画変更」の際の数値

※ 総事業費：事業に必要な調査設計費、用地買収費、工事費、事務的経費等の総額

※ 総費用：総事業費に維持管理費(下水道事業は更新費用も含む)を加え、その金額を現在価値化したもの

2 評価の視点

⑫事業の進捗が遅れている理由（遅れを取り戻す工夫や取組状況も併せて記載のこと）

前回評価時から概ね計画どおりに進捗している。

⑬事業を継続することにより発揮される効果（前回評価時からの変化についても記載）

- ・高波による交通不能、全面通行止めの解消。
- ・観光バスなどの大型車すれ違い困難区間の解消。
- ・主要観光地（佐渡小木海岸、素浜海岸等）、主要港（小木港）へのアクセス向上。

⑭便益として貨幣換算していないが、事業により見込まれる効果

本工区を含め、島内ネットワークとして整備することにより、以下の効果が見込まれる。

- ・第2次医療施設（佐渡総合病院）への搬送時間が短縮され、救命率の向上が図られる。
- ・新たな観光周遊が可能となり、観光振興が促進される。
- ・物流経路改善による各産業の活性化が期待される。

⑮社会経済情勢の変化

平成16年3月1日に両津市、相川町、佐和田町、金井町、新穂村、畑野町、真野町、小木町、羽茂町、赤泊村の10市町村が合併し、人口62,727人（H22国勢調査）に新市「佐渡市」が誕生。

佐渡金山を含む「佐渡金銀山世界遺産」への登録に向けて、新潟県・佐渡市・地元地域による積極的な観光客の誘致活動が行われている（平成22年度にユネスコ世界遺産暫定リストに記載）。

平成20年度以降トキの放鳥を実施しており、佐渡の観光資源としての付加価値が高まっている。

⑯B/Cの変化の要因（需要予測等の変化、全体事業費の変化要因について記載）

- ・前回評価：平成17年度道路交通センサスを基にした平成42年将来交通量は、10百台/日
- ・今回評価：平成17年度道路交通センサスを基にした平成42年将来交通量は、10百台/日
- ・近年に発生した災害を考慮した災害便益等の増

⑰コスト縮減、代替案の可能性

- ・代替路線もなく、海岸と山に挟まれ限られた事業地内での道路計画で実施しており、代替案による計画の見直しは考えていない。
- ・同工区内の発生土や他工区発生土の転用を図り、資源の有効利用とコスト縮減に努めている。

⑱関係機関等の意向、関連事業と調整状況等

佐渡市「新市建設計画」の骨格をなす幹線道路として、事業促進が望まれている。

3 今後の実施方針（案） ※今後の見通しを併せて記載のこと

平成26年度に県道沢崎木野浦線と接続する市道タッチまでの現道拡幅整備が完了。残るバイパス区間の用地買収はほぼ完了し、改良工事を順次進め早期の全線完了を目指す。

来年度以降も事業を継続したい。

4 経緯

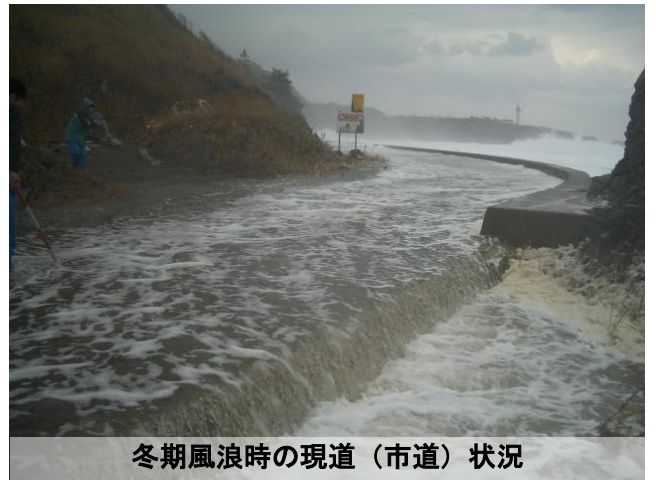
区 分	当初 (H13)	前回評価 (H21)		
工 期	H13～H29	H13～H29		
総事業費	1,225百万円	1,252百万円		
事業内容	バイパス整備事業 L=2.0km	バイパス整備事業 L=1.9km		
費用対効果 (B/C)	B/C= (= /)	B/C=0.9 (=6.9/7.9)		



①



②



平成26年度 再評価実施後5年経過した事業箇所の再評価項目表

事業主体	新潟県	事業名	社会資本整備総合交付金(道路事業)
事業箇所	佐渡市静平～佐渡市下川茂地内	路線名	主要地方道 両津真野赤泊線(川茂峠道路)

1 事業の概要

<p>① 事業の目的・効果・必要性等</p> <p>主要地方道両津真野赤泊線は、赤泊港から佐渡島の骨格軸である350号にアクセスする重要な幹線道路であり、観光拠点(法乗坊の種まき桜)へのアクセス路線、生活基盤を支える重要な生活路線である。</p> <p>しかし、当該工区は、防災点検危険箇所を有し、急勾配、幅員狭小で、普通車両のすれ違いも困難であり、これらの交通支障箇所の解消が急務な状況である。</p> <p>川茂峠道路は、道路防災点検危険箇所・交通支障箇所の解消を図るとともに、地域住民、観光客が安全で安心して通行できる道路の確保及び災害時における交通の確保を目的とした延長約3.2kmの現道拡幅事業である。</p>																																											
<p>② 事業内容</p> <p>L=3.2km 現道拡幅事業 橋梁 4橋</p>	<p>③ 残事業内容</p> <p>L=2.5km 現道拡幅事業 橋梁 4橋</p>																																										
<p>④ 総事業費</p> <p>2,401百万円 [2,401百万円]</p>	<p>⑦ 進捗率(事業費ベース)</p> <p>58.6% (=1,406/2,401)</p>																																										
<p>⑤ 執行済事業費</p> <p>1,406百万円 [901百万円]</p>	<p>⑧ 現在の費用対効果(B/C) [基準年 H26年]</p> <p>全体 B/C=1.0(24.6/24.9) 残事業 B/C=2.4(18.4/7.6)</p>																																										
<p>⑥ H26年度以降残事業費</p> <p>995百万円 [1,500百万円]</p>	<p>⑨ 前回の費用対効果(B/C) [基準年 H21年]</p> <p>全体 B/C=0.7(16.0/21.4) 残事業B/C=1.5(15.3/10.2)</p>																																										
<p>⑩ 便益の内訳 (残事業)</p> <table border="0"> <tr> <td>走行時間短縮便益</td> <td>1042百万円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>[822百万円]</td> </tr> <tr> <td>走行経費減少便益</td> <td>122百万円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>[99百万円]</td> </tr> <tr> <td>交通事故減少便益</td> <td>27百万円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>[36百万円]</td> </tr> <tr> <td>その他便益</td> <td>653百万円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>[568百万円]</td> </tr> <tr> <td>その他の便益：内訳</td> <td></td> </tr> <tr> <td>冬期便益</td> <td>28百万円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>[21百万円]</td> </tr> <tr> <td>休日観光便益</td> <td>9百万円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>[10百万円]</td> </tr> <tr> <td>災害便益</td> <td>616百万円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>[537百万円]</td> </tr> </table>	走行時間短縮便益	1042百万円		[822百万円]	走行経費減少便益	122百万円		[99百万円]	交通事故減少便益	27百万円		[36百万円]	その他便益	653百万円		[568百万円]	その他の便益：内訳		冬期便益	28百万円		[21百万円]	休日観光便益	9百万円		[10百万円]	災害便益	616百万円		[537百万円]	<p>⑪ 費用の内訳 (残事業)</p> <table border="0"> <tr> <td>総費用</td> <td>763百万円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>[1,021百万円]</td> </tr> <tr> <td>総事業費</td> <td>776百万円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>[1,021百万円]</td> </tr> <tr> <td>維持管理費</td> <td>-12百万円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>[0百万円]</td> </tr> </table>	総費用	763百万円		[1,021百万円]	総事業費	776百万円		[1,021百万円]	維持管理費	-12百万円		[0百万円]
走行時間短縮便益	1042百万円																																										
	[822百万円]																																										
走行経費減少便益	122百万円																																										
	[99百万円]																																										
交通事故減少便益	27百万円																																										
	[36百万円]																																										
その他便益	653百万円																																										
	[568百万円]																																										
その他の便益：内訳																																											
冬期便益	28百万円																																										
	[21百万円]																																										
休日観光便益	9百万円																																										
	[10百万円]																																										
災害便益	616百万円																																										
	[537百万円]																																										
総費用	763百万円																																										
	[1,021百万円]																																										
総事業費	776百万円																																										
	[1,021百万円]																																										
維持管理費	-12百万円																																										
	[0百万円]																																										

※ ④～⑥、⑩、⑪の[]内は前回再評価時の数値

※ 総事業費：事業に必要な調査設計費、用地買収費、工事費、事務的経費等の総額

※ 総費用：総事業費に維持管理費(下水道事業は更新費用も含む)を加え、その金額を現在価値化したもの

2 評価の視点

⑫事業の進捗が遅れている理由（遅れを取り戻す工夫や取組状況も併せて記載のこと）

前回評価時から概ね計画どおりに進捗している。

⑬事業を継続することにより発揮される効果

- ・落石、法面崩壊等の災害危険箇所の解消
- ・観光バス等の大型車すれ違い困難区間の解消。
- ・第2次緊急輸送道路としての機能強化。
- ・第2次医療施設(佐渡総合病院)へのアクセス向上。
- ・主要観光地(法乗坊の種まき桜、大崎そばの会)、主要港(赤泊港、小木港)へのアクセス向上。

⑭便益として貨幣換算していないが、事業により見込まれる効果

本工区を含め、島内ネットワークとして整備することにより、以下の効果が見込まれる。

- ・第2次医療施設（佐渡総合病院）への搬送時間が短縮され、救命率の向上が図られる。
- ・新たな観光周遊が可能となり、観光振興が促進される。
- ・物流経路改善による各産業の活性化が期待される。

⑮社会経済情勢の変化

平成16年3月1日に両津市、相川町、佐和田町、金井町、新穂村、畑野町、真野町、小木町、羽茂町、赤泊村の10市町村が合併し、人口62,727人（H22国勢調査）に新市「佐渡市」が誕生。

佐渡金山を含む「佐渡金銀山世界遺産」への登録に向けて、新潟県・佐渡市・地元地域による積極的な観光客の誘致活動が行われている（平成22年度にユネスコ世界遺産暫定リストに記載）。

平成20年度以降トキの放鳥を実施しており、佐渡の観光資源としての付加価値が高まっている。

⑯B/Cの変化の要因（需要予測等の変化、全体事業費の変化要因について記載）

- ・前回評価：平成17年度道路交通センサスを基にした平成42年将来交通量は、11百台/日。
- ・今回評価：平成17年度道路交通センサスを基にした平成42年将来交通量は、11百台/日。
- ・計画の見直し及び計画延長等の精査

⑰コスト縮減、代替案の可能性

- ・当工区内の切土材や他工区残土を流用し、資源の有効利用及びコスト縮減。

⑱関係機関等の意向、関連事業と調整状況等

佐渡市「新市建設計画」の骨格をなす幹線道路として、事業促進が望まれている。

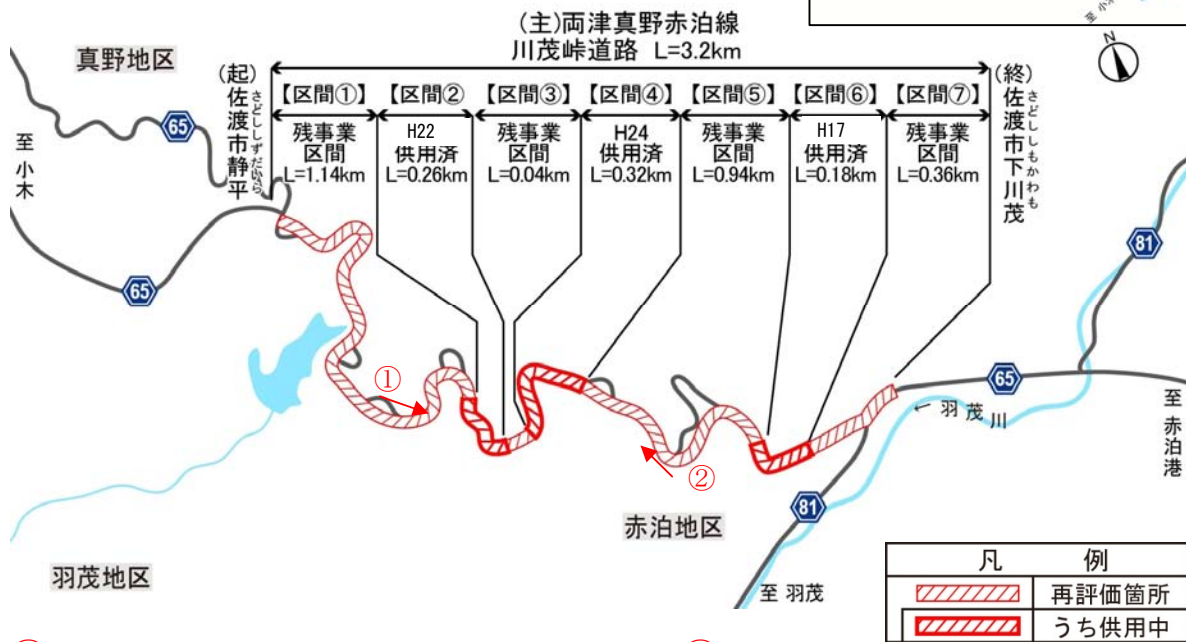
3 今後の実施方針（案） ※今後の見通しを併せて記載のこと

工区内の現道状況、施工計画、事故履歴等の観点から優先順位を付けており、順次施工を進める。当面は、本工区内で最も急カーブとなっている区間で計画されている橋梁工、切土工及び盛土工を促進する。

来年度以降も事業を継続したい。

4 経緯

区 分	当初 (H12)	前回評価 (H21)		
工 期	H12～H32	H12～H32		
総事業費	2,401百万円	2,401百万円		
事業内容	現道拡幅事業 L=3.1km	現道拡幅事業 L=3.1km		
費用対効果 (B/C)	B/C= (= /)	B/C=0.7 残事業 (=16.0/21.4)		



①



○ 幅員狭小ですれ違いが困難

②



○ 雪崩が発生し除去作業を実施

平成26年度 再評価実施後5年経過した事業箇所の再評価項目表

事業主体	新潟県	事業名	社会資本整備総合交付金（道路事業）
事業箇所	佐渡市下川茂～佐渡市羽茂本郷地内	路線名	主要地方道佐渡縦貫線（小佐渡縦貫道路）

1 事業の概要

<p>① 事業の目的・効果・必要性等</p> <p>主要地方道佐渡縦貫線は、小木港から佐渡島の骨格軸である国道350号の小木～両津間における幹線道路であり、観光拠点(度津神社、法乗坊の種まき桜)へのアクセス路線、生活基盤を支える重要な生活路線である。</p> <p>しかし、当該工区は道路防災点検危険箇所を有し、幅員狭小で、線形不良のため、これらの交通支障箇所の解消が急務な状況である。</p> <p>小佐渡縦貫道路は、道路防災点検危険箇所・交通支障箇所の解消を図るとともに、地域住民、観光客が安全で安心して通行できる道路の確保及び災害時における交通の確保を目的とした延長約3.2kmの現道拡幅事業である。</p>																																											
<p>② 事業内容</p> <p>L=3.2km 現道拡幅事業 橋梁 1橋</p>	<p>③ 残事業内容</p> <p>L=1.4km 現道拡幅整備 橋梁 1橋</p>																																										
<p>④ 事業費</p> <p>2,507百万円[2,619百万円]</p>	<p>⑦ 進捗率（事業費ベース）</p> <p>64.7% (=1,622/2,507)</p>																																										
<p>⑤ 執行済事業費</p> <p>1,622百万円[656百万円]</p>	<p>⑧ 現在の費用対効果(B/C)〔基準年 H26年〕</p> <p>全体 B/C=0.4(9.5/25.7) 残事業B/C=0.8(5.2/6.3)</p>																																										
<p>⑥ H26年度以降残事業費</p> <p>885百万円[1,963百万円]</p>	<p>⑨ 前回費用対効果(B/C)〔基準年 H21年〕</p> <p>全体B/C=0.4(8.6/22.4) 残事業B/C=0.5(6.9/12.9)</p>																																										
<p>⑩ 便益の内訳 (残事業)</p> <table border="0"> <tr> <td>走行時間短縮便益</td> <td>480百万円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>[554百万円]</td> </tr> <tr> <td>走行経費減少便益</td> <td>26百万円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>[36百万円]</td> </tr> <tr> <td>交通事故減少便益</td> <td>3百万円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>[19百万円]</td> </tr> <tr> <td>その他便益</td> <td>10百万円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>[79百万円]</td> </tr> <tr> <td>その他の便益：内訳</td> <td></td> </tr> <tr> <td>冬期便益</td> <td>8百万円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>[9百万円]</td> </tr> <tr> <td>休日観光便益</td> <td>1百万円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>[0百万円]</td> </tr> <tr> <td>災害便益</td> <td>1百万円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>[70百万円]</td> </tr> </table>	走行時間短縮便益	480百万円		[554百万円]	走行経費減少便益	26百万円		[36百万円]	交通事故減少便益	3百万円		[19百万円]	その他便益	10百万円		[79百万円]	その他の便益：内訳		冬期便益	8百万円		[9百万円]	休日観光便益	1百万円		[0百万円]	災害便益	1百万円		[70百万円]	<p>⑪ 費用の内訳 (残事業)</p> <table border="0"> <tr> <td>総費用</td> <td>628百万円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>[1,289百万円]</td> </tr> <tr> <td>総事業費</td> <td>628百万円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>[1,289百万円]</td> </tr> <tr> <td>維持管理費</td> <td>0百万円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>[0百万円]</td> </tr> </table>	総費用	628百万円		[1,289百万円]	総事業費	628百万円		[1,289百万円]	維持管理費	0百万円		[0百万円]
走行時間短縮便益	480百万円																																										
	[554百万円]																																										
走行経費減少便益	26百万円																																										
	[36百万円]																																										
交通事故減少便益	3百万円																																										
	[19百万円]																																										
その他便益	10百万円																																										
	[79百万円]																																										
その他の便益：内訳																																											
冬期便益	8百万円																																										
	[9百万円]																																										
休日観光便益	1百万円																																										
	[0百万円]																																										
災害便益	1百万円																																										
	[70百万円]																																										
総費用	628百万円																																										
	[1,289百万円]																																										
総事業費	628百万円																																										
	[1,289百万円]																																										
維持管理費	0百万円																																										
	[0百万円]																																										

※ ④～⑥、⑩、⑪の[]内は前回再評価時の数値

※ 総事業費：事業に必要な調査設計費、用地買収費、工事費、事務的経費等の総額

※ 総費用：総事業費に維持管理費(下水道事業は更新費用も含む)を加え、その金額を現在価値化したもの

2 評価の視点

⑫事業の進捗が遅れている理由（前回評価時からの変化、遅れを取り戻す工夫や取組状況も併せて記載）
前回評価時から概ね計画どおりに進捗している。

⑬事業を継続することにより発揮される効果（前回評価時からの変化についても記載）

- ・落石、法面崩壊等の災害危険箇所の解消が図られる
- ・第2次緊急輸送道路としての機能強化。
- ・第2次医療施設（佐渡総合病院）へのアクセス向上。
- ・主要観光地（度津神社、法乗坊の種まき桜、大崎そばの会）へのアクセス向上。

⑭便益として貨幣換算していないが、事業により見込まれる効果

本工区を含め、島内ネットワークとして整備することにより、以下の効果が見込まれる。

- ・第2次医療施設（佐渡総合病院）への搬送時間が短縮され、救命率の向上が図られる。
- ・新たな観光周遊が可能となり、観光振興が促進される。
- ・物流経路改善による各産業の活性化が期待される。

⑮社会経済情勢の変化（前回評価時からの変化についても記載）

平成16年3月1日に両津市、相川町、佐和田町、金井町、新穂村、畑野町、真野町、小木町、羽茂町、赤泊村の10市町村が合併し、人口62,727人（H22国勢調査）に新市「佐渡市」が誕生。

佐渡金山を含む「佐渡金銀山世界遺産」への登録に向けて、新潟県・佐渡市・地元地域による積極的な観光客の誘致活動が行われている（平成22年度にユネスコ世界遺産暫定リストに記載）。

平成20年度以降トキの放鳥を実施しており、佐渡の観光資源としての付加価値が高まっている。

⑯B/Cの変化の要因（前回評価時から需要予測等の変化、全体事業費の変化要因について記載）

- ・前回評価：平成17年度道路交通センサスを基にした平成42年将来交通量は、9百台/日
- ・今回評価：平成17年度道路交通センサスを基にした平成42年将来交通量は、9百台/日
- ・供用予定年の遅延

⑰コスト縮減、代替案の可能性（前回評価時からの変化についても記載）

・幅員構成の見直し等による整備計画の変更を行い、事業進捗の促進を図るとともに、コスト縮減を行った。

- ・同工区内の発生土や他工区発生土の転用を図り、資源の有効利用とコスト縮減に努めている。

⑱関係機関等の意向、関連事業と調整状況等（前回評価時からの変化についても記載）

佐渡市「新市建設計画」の骨格をなす幹線道路として、事業促進が望まれている。

3 今後の実施方針（案） ※今後の見通しを併せて記載のこと

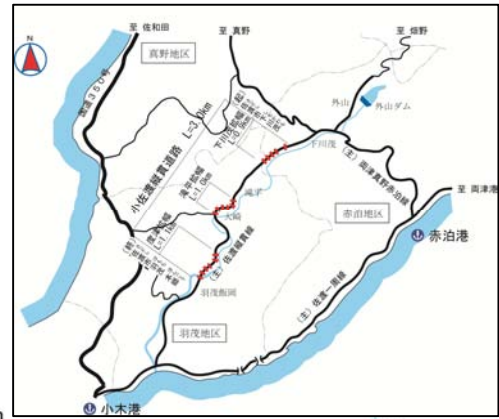
平成23年度中に下川茂工区が全線供用開始した。

滝平工区、度津工区は改良工事の進捗を図り、事業効果の早期発現を目指す。

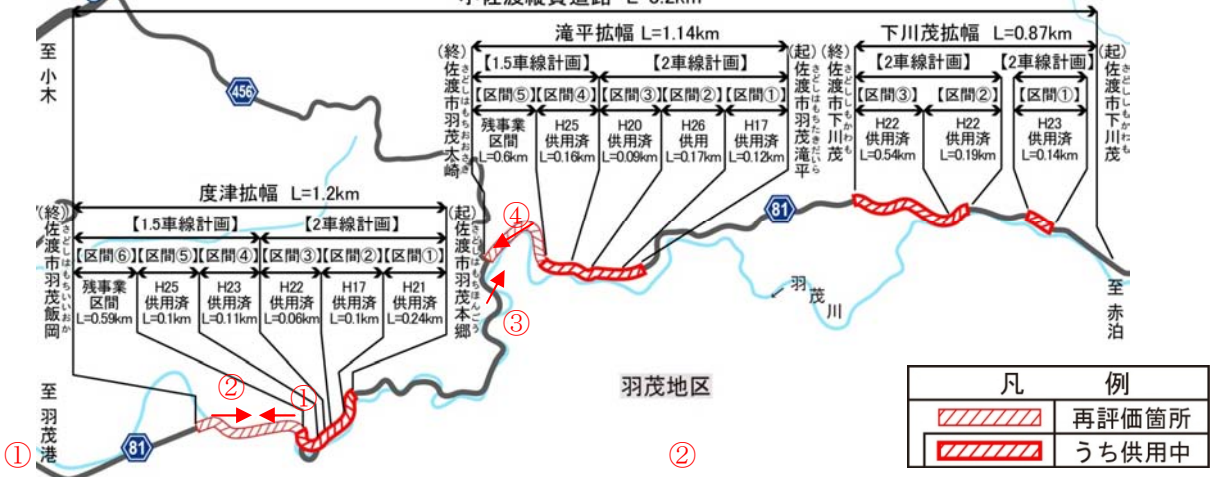
来年度以降も事業を継続したい。

4 経緯

区分	当初(H8)	前々回再評価(H17)	前回評価(H21)	
工期	H8～H24	H16～H25	H16～H30	
総事業費	5,900百万円	2,700百万円	2,600百万円	
事業内容	現道拡幅事業 L=6.2km	現道拡幅事業 L=3.0km	現道拡幅事業 L=3.0km	
費用対効果 (B/C)	B/C= (= /)	B/C=1.4 (=32.0/22.2) 残事業	B/C=0.5 (=6.9/12.9) 残事業	



(主)佐渡縦貫線
小佐渡縦貫道路 L=3.2km



幅員狭小ですれ違いが困難